

なるネット

なるとう小NETWORK



令和2年2月21日(金)

学校評価アンケート、ご協力ありがとうございました。

令和2年1月に実施しました児童アンケート並びに保護者アンケートの集約結果についてお知らせします。アンケートは、9つの項目について、A～Dの4段階（A：よく当てはまる B：だいたい当てはまる C：あまり当てはまらない D：まったく当てはまらない）での評価になっています。項目の言葉が児童アンケートと保護者アンケートとでは、表現が異なるところがあります。

以下のように、児童・保護者の順に表にしました。表内の上段に30年度、下段に令和元年度の結果を%で載せました。A+B>90%の数値は、太字で表示しています。

【児童アンケート結果（3年生以上）】（99%：565人中562人）

上段：30年度、下段：本年度（単位 %）10分の1の位四捨五入

	質 問	A	B	C	D
1	楽しく学校生活を送ることができている。	70 67	25 28	4 4	1 1
2	学校の行事（運動会や作品展、中津川野外学習、修学旅行などなど）に一生懸命取り組んでいる。	74 75	22 23	3 2	1 0
3	進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたときに声を出して返事をしたりすることができる。	39 43	50 46	10 10	1 1
4	授業で、話し合いや振り返りをとおして、自分の考えをまとめようとしている。	41 39	47 46	9 13	3 2
5	授業や学校生活で、相手の気持ちを大切にすることができる。	54 58	39 38	7 3	0 1
6	学校で、うがいや手洗いを行うなど、自分の健康に気を付けた生活を送ることができる。	33 41	50 42	13 14	4 3
7	友達と仲よく過ごすことができている。	82 80	15 17	2 2	1 1
8	進んで運動を行っている。	50 53	32 30	14 15	4 2
9	困ったことがあったら、学校の職員（先生、用務員さん、事務さん、スクールカウンセラーなど）に、相談ができる。	35 53	37 29	16 14	12 4

【児童アンケート結果の考察】

児童アンケートの結果のA「よく当てはまる」とB「だいたい当てはまる」を合わせた割合で各項目を見てみると、項目1（学校生活）、項目2（行事）、項目5（思いやり）、項目7（友達関係）は、90%以上でした。

これらの結果は昨年度と比較すると、ほぼ同じ数値になっています。子どもたちは、毎日学校生活を友だちと楽しく過ごしていることがわかります。また、運動会や作品展といった学校行事では、一生懸命取り組み、満足感を得たことも、この結果からうかがうことができます。

項目5（思いやり）については、3年前、努力点の指導で相手を思いやることができる子をめざしていましたが、その流れが今もいい形で継続できていると思われま。

項目7（友達関係）については、A82%、B15%の合計97%。とても高い数値である。普段から仲良く遊んだり、学習したりしている様子が見え数字と考えられます。

次に、項目3（挨拶）88%、項目4（学びを深める）89%と高い結果になっています。学校努力点で本年度、取り組みました、話し合い活動等を通して、自分の考えを深めることは、学年により、そのアプローチは異なる場合もありますが、概ね達成できたと思われま。自分の考えをグループ内で発表する、仲間の考えと比較する、ねらいにあった考えを選ぶという学習の流れによって、自身の学びが深まったという実感に結びついていると考えられます。

項目3（挨拶）については、児童回答のA39%、B50%、合計89%。昨年度の91%と近い結果であった。この数字から、家庭、分団、地域でも元気に挨拶できる子はできていると考えられます。残り10%弱、学級で3～4名の児童に関しては、家庭も含め学校でも、十分な挨拶ができていないと想像できます。これらの児童も含め、元気に挨拶ができるよう指導を継続する必要があります。

項目6（健康管理）は、83%、風邪予防で手洗いうがいは励行している時期の割には低い数値になっています。年間を通して、ハンカチの携帯を含め、自分の健康を守る意識が持てるよう指導をしていく必要性を感じま。家庭で、ハンカチを持たせていただくことで、次年度の結果は、90%を超えるように大きく変化すると思いま。ご協力下さい。

項目8（運動）は、昨年度87%から82%へ下がりました。子どもたちが、休憩時間に進んで運動場へ出て元気よく遊ぶ姿は、普段の姿として変化していません。寒さに負けないように外へでる指導を継続しま。

項目9（相談）については、過去数年間、約70～75%です。学校での相談窓口は、担任、その他の職員、スクールカウンセラー、心のポスト、教育相談があります。スクールカウンセラーは、ほぼ毎週、児童や保護者からの相談を受け、不安を解消したり、課題に向けて見通しを持てるよう助言することができました。

子どもたちにとって、悩みの内容には、家族や友達に相談すればよいと考えているものがあることがこの結果に表れているかもしれません。高学年になると、学校の先生に相談しなくても、友達にはじめに相談をすることが増える傾向があります。

学校と家庭、さらには地域が連携をとって、子どもたちの声に耳を傾け、小さな変化も見逃さないような環境づくりに努めていきまと思いま。

ご家庭でも、子どもたちの言動などの変化に気を配っていただき、学校と家庭で共に育てる意識をもつことが大切と考えま。

【保護者アンケート結果】（84%：846人中708人）（単位 %）10分の1の位四捨五入
上段：30年度、下段：本年度

	項 目	A	B	C	D
1	子どもは、充実した学校生活を送ることができている。	61 59	38 39	1 2	0 0
2	子どもは、学校の行事（運動会や作品展）に、一生懸命取り組んでいる。	75 70	25 29	0 1	0 0
3	子どもは、進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたときに声を出して返事をしたりすることができている。	33 34	57 52	10 12	0 1
4	学校は、子どもたちが話し合い活動で考えを広げたり、学習したことをまとめ、振り返ったりする授業づくりに努めている。	40 39	57 55	3 6	0 1

5	学校は、子どもたちが、相手の気持ちを大切にできるように努めている。	37 40	58 54	5 6	0 0
6	学校は、子どもたちが過ごしやすいように、安全、美化や、健康管理に努めている。	39 43	56 51	5 5	0 1
7	学校は、なるネット、学年だより、ホームページなどで、学校の教育活動等を分かりやすく伝えている。	48 50	47 45	5 5	0 0
8	学校は、授業参観や学校開放、学校行事など、保護者が授業や学校の様子を参観する機会を適切に設けている。	63 61	36 37	1 2	0 0
9	保護者は、子どものことについて学校（教職員）に相談がしやすい。	44 44	46 46	9 9	1 1

【保護者アンケート結果の考察】

A「よく当てはまる」B「だいたい当てはまる」の合計の割合で、結果をとらえてみますと、項目3が86%で、その他は90～99%という高い評価といえる結果となりました。

また、昨年度より回答率が79%から84%に上がりました。兄弟姉妹のある家庭でも人数分、提出いただけただおかげです。ご協力ありがとうございました。

以下、主な項目の結果と考察について、触れていきます。

今年度は、A「よく当てはまる」とB「だいたい当てはまる」を合わせた割合が全ての項目で、90%を超えました。大変ありがたい結果です。特に以下の3項目は99%以上という数字です。A+B>90%の数値は、太字で表示しています。

- | | | |
|---|--|-----|
| 1 | 子どもは、充実した学校生活を送ることができている。 | 98% |
| 2 | 子どもは、学校の行事（運動会、作品展など）に一生懸命取り組めたと言っている。 | 99% |
| 8 | 学校は、授業参観や学年開放、学校行事など、保護者が授業や学校の様子を参観する機会を適切に設けている。 | 98% |

項目1（学校生活）、2（行事）、8（参観機会）は、いずれもAB合計の割合は、ほぼ100%。A「よく当てはまる」の数値は59%、70%、61%で、これらの数値は昨年度よりやや低い数値です。

これらの要因としては、日々、学校生活を楽しんでいる様子を子どもたちが話している家庭が多いのではないかと予想します。行事に関しては、運動会の種目のコンパクト化（表現が競争遊技の前に3分程度）も2年目で「運動会アンケートに表現がなくなっても見劣りしない」という一定の評価を得ているからだと考えられます。また、10月の作品展に関しては、一人ひとりの作品の力を評価する声が圧倒的に多く高評価につながったのではないかと推測します。

今後とも、本校の特長である『行事も一生懸命取り組む』姿勢を大切に指導していきます。令和2年度からは、運動会や学芸会の練習時間もさらに短くなるため、実現可能な出来映えを目指すこととなります。この点をご理解いただきますようお願いいたします。

項目8（参観機会）については、運動会、学校開放、作品展をはじめとする学校行事への取り組みや本校の教育活動の特徴を理解いただき、参観する機会も適切であるという評価として受け止めることができる結果になっています。が、兄弟姉妹をもつ共働き世帯から、「共働きが多くなっていると思うので、行事に参加しやすい配慮がほしいです。授業参観も3日間に分かれると仕事を休めません。」という意見の一方で「学校開放を増やして様子が見られるようにしてほしい。」という意見もありました。

〈A「よく当てはまる」とB「だいたい当てはまる」を合わせた割合がやや低い項目から〉

- | | |
|---|--|
| 3 | 子どもは、進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたときに声を出して返事をする
ことができている。（保護者：88%→90%→ 86% 、児童：91%→89%→ 89% ）
（3年間の推移＜平成29年度～令和元年度＞） |
|---|--|

項目3（挨拶、返事）については、ここ3、4年間、約90%という結果が続いています。保護者の数値も約90%であることは、家庭での挨拶もできていることを意味します。学校で

の挨拶の指導は、朝、正門等で職員が立って実施しています。よりよい習慣になるように次年度も取り組みます。今後も、学校、家庭、地域と協力して、挨拶の継続的な指導が必要だと考えます。

○ 学校評議員会での話題について

2月17日（月）に学校評議員会が行われました。学校評価アンケート結果をもとにして、本校の教育活動、子どもたちの様子について話し合いました。『運動会』、『挨拶』、『登下校のようす』等を話題に話し合いました。その一部を紹介します。

運動会、行事や教育活動の精選について

質問：運動会の騎馬戦は残りますか？

回答：「各学年、競争遊技の種目を毎年、検討していますが、1年は玉入れ、5年は棒引きのように、学年ごとに固定化しつつあります。6年に関しては、限られた練習時間で安全面を確保できると判断できれば、騎馬戦は継続される見込みです。」

意見：「昔は土曜日も授業があり、運動会の練習は何時間もやってましたが、教えることが増えた今、精選していかないと仕方がないです。あれもこれもとやることが増えると、先生の心のゆとりがなくなって、子どもたちに笑顔で接することが難しくなります。ゆったりとした気持ちで臨むためにも、行事や教育活動は思い切って**精選**していくべきです。」

子どもたちの挨拶について

質問：アンケートの「挨拶」の結果は約89%の児童ができていますと答えていますが、登下校時や地域では、いかかでしょうか？

意見：「旗当番をしていると、**聞こえる声で挨拶ができる子は10%**くらいです。集合した時にもお互いに挨拶をしていないのではないのでしょうか？」「地域や交差点でも10%くらいだと思います。」「アンケートの結果はいいですが、**小さい声や元気のない挨拶が多い**です。どうして挨拶が必要かということを理解するより、まず形から入って、挨拶が自然にできるように習慣化していくことが大事です。」

子どもたちの登下校の様子について

質問：子どもたちの登下校時の様子で、気になることはありますか？

意見：「平手交差点で、ドキッとすることがあります。坂を下りて、交差点前に歩道があります。歩道の手前で信号を待って横断するのですが、信号が青になった瞬間に、ヨーイドンのようにダッシュで歩道を駆け抜け、横断歩道に入る子が結構います。歩道は自転車がくることがあるので、ドキッとします。歩道も車道も、**左右を確かめてから渡る**ようにしないと事故がおきますね」「朝、平手交差点の南西の歩道から、横断歩道をマクドナルド側に渡る分団の一部が、せまい歩道を歩行者がいても走って行く子、横断歩道を広がって渡る子が**歩行者や自転車と接触**する心配があります」

次年度に向けて（行事の予定、変更点）

- ・令和2年度の入学式は、4月6日（月）、始業式は4月7日（火）になります。
- ・今年度の卒業式は、開式9：05です。次年度以降、人数に応じて9：00に移行していく予定です。
- ・5年生の中津川野外学習は、6月15日～17日、6年生修学旅行は、10月8日・9日の計画です。
- ・外国語5・6年は52時間→70時間（週2時間）、3・4年は17時間→35時間（週1時間）になります。
- ・3年生は、6時間の日が火曜日1回でしたが、火曜日と水曜日の2回になります。
- ・その他の学年は、時間数、下校時間は変更なし。ただし、委員会・クラブを実施する日が、水曜日6時間目から金曜日6時間目に変更されます。